

# 八木健の川柳アート

35

## 川柳で時代を記録

時事川柳は、現在進行形を詠むから鮮度のよい作品となる。

最近の拙句から

「暫定」に使い勝手のよさの意味

厚労省伝家の宝刀振り回す

「中国製」の文字は小さくて卑屈だな

若者を死なせて忘れた頃逮捕

ねぎらいの言葉を要求するお馬鹿

## 特選

選者・川柳アート

八木健

〔月刊川柳総合誌「川柳マガジン」元選者〕



加藤 明 (西予市)

休みたい水車へ水がけしかける

川柳も俳句も直感力が決め手になるといふことがよく分かる作品ですね。かたちとしては擬人化ですが、休みなく回り続ける水車に同情しているのがよろしいですね。川柳は作者のやさしさがモロに出ます。

## 佳作



前田 重信 (愛南町)

眠れない目覚まし時計頼まれて

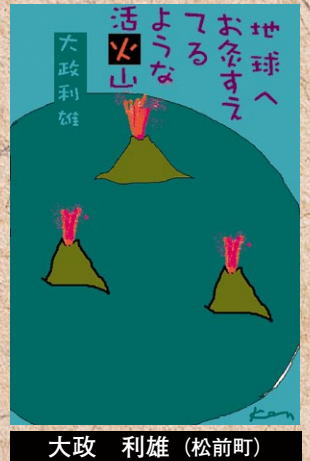
夜中に幾度も目覚めてしまう責任感の強い方。頼んだほうは目覚まし時計が鳴らない場合のことを考えてのこと。千円札一枚出して「ほら、これで目覚まし時計買いなよ」と啖呵切つてみましょう。千円で買える時代なんだからさ。



石原 康正 (松山市)

夢に見たみかんジュースが蛇口から

「噂を現実のものにした企画は天晴れじゃ」と作者のコメント。全国版のニュースにもなったからモトはとれたわけ。このあとはすべての道後温泉旅館にみかんジュースの蛇口をとりつけることですね。ついでに、宿泊客にみかんを売らしましょう。



大政 利雄 (松前町)

地球へお灸すえるような活火山

そう言えば、お灸と火山はかたちが似てますねえ。宇宙からすれば環境破壊の進む地球はかなりの「ワル」でしょうね。宇宙空間に人工衛星のゴミを撒き散らし、温暖化の地球は海面上昇でとんでもないことに……。ホントは人間に灸をすえなくちゃね。



松岡タツ恵 (松山市)

マラソンの先頭集団黒くなり

「黒人選手は強い」と作者のコメント。先祖代々草原を走り回っていた人種にはかなわないね。普通車の競争にスポーツカーのエンジン載せた車が混じっているのと同じ。高校駅伝なんかそのために留学させていることも。ヤメロとは言えないが、興ざめだよなあ。

## 古今の名句



麻生 路郎

春の草代議士などに踏まれるな

麻生は明治二十一年尾道生まれ。職を捨てて妻子を泣かせて川柳に熱中してプロの川柳作家となった。掲出句は、春の草の無垢な清純さと対比させることで穢れた代議士を糾弾したもの。妻子を捨ててことを成し遂げた人物に、尾崎方哉、種田山頭火、西東三鬼など……。



やぎけん

観光の目玉は知事だけ宮崎県

観光の目玉は知事だけ宮崎県  
東国原知事の活躍は眼を見張るばかり。宮崎県庁は観光コースに組み入れられた。ことあるごとに宮崎の産物を宣伝する知事は観光の目玉になった。しかし、知事が目立てばそのほかのものは影が薄くなるのが道理というものです。宮崎名物は何でしたか……、さて。

本コーナーが  
待望の単行本化  
好評発売中!!



「八木健の川柳アート」では、川柳を募集しています。テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には八木さんが「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントいたします。応募方法は36ページをご覧ください。